

愛知県
平成25年度在宅医療従事者能力向上研修会

全国の先進地域の取り組み紹介 ～在宅医療・介護連携のための 市町村ハンドブック 解説～



平成 26 年 1月 26日 (日)
国立長寿医療研究センター 在宅連携医療部
後藤 友子

在宅医療・介護連携のための 市町村ハンドブック とは

平成23年、24年度 在宅医療連携拠点事業による
成果(成果報告、進捗情報、提出物、問い合わせ、
アクションリサーチにより得られた情報など)

をもとに

各地域が今後在宅医療推進・医療介護連携を包含した
地域包括ケアシステム構築にむけ

取り組むための

初級編取り組み方解説書

在宅医療連携拠点事業

在宅医療連携拠点事業（平成24年度まで）

【背景】

- 国民の60%以上が自宅での療養を望んでいる。
- 特に都市部において急速な高齢化が進展しており、死亡者数は、2040年にかけて今よりも約40万人増加。

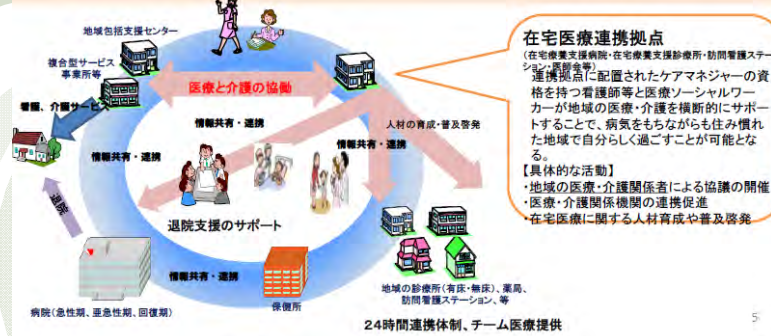
平成23年度 10カ所
平成24年度 105カ所

【在宅医療・介護における課題】

- 在宅医療を推進するには、関係する機関が連携し、医療と介護のサービスが包括的かつ継続的に提供されることが重要。しかし、これまで、医療側から働きかけての連携の取り組みが十分に行われてきたとはいえない。

【事業の概要】

- 在宅医療を提供する機関等を連携拠点として、多職種協働による在宅医療の支援体制を構築し、医療と介護が連携した地域における包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指す。



在宅医療・介護連携のための市町村ハンドブック 解説



目次	
1 在宅医療・介護連携の必要性について	1
(1) 地域包括ケアシステムの構築がますます重要に	1
(2) 在宅医療は地域包括ケアシステムの不可欠の要素	1
(3) まずは、自らの市町村で課題の検証を	2
2 在宅医療・介護連携の進め方	3
(1) はじめに	3
(2) 市町村での事業の取組みのフローチャート	4
(3) 市町村における担当課の決定	6
(4) 都府県連絡体制との連携	9
(5) 地域包括支援センターの位置づけ	10
3 具体的取組み	11
A. 会議の開催 (会議への関係関係者の多数の参加を含む)	12
B. 地域の医療・福祉資源の把握及び活用	17
C. 研修の実施	20
D. 24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築	24
E. 地域包括支援センター・ケアマネジャーを対象にした支援の実施	29
F. 効果的な情報共有のための取組み	31
地域連携バスの作成の取組み	31
地域の在宅医療・介護関係者の連絡様式や方法の統一など	31
G. 地域住民への普及・啓発	33
H. 年間事業計画	35
4 今後に向けて	39
(1) 市町村事業のさらなる向上のために	39
(2) 制度改正の動向	41
資料1) 各市町村の取組みに関する調査等の結果一覧	42
資料2) 地域包括ケアシステム構築への取組みにおいて参考にされたい情報紹介	43

全国の市町村自治体・都道府県自治体・保健所
郡市区医師会・都道府県医師会など 3500冊を配布

在宅医療・介護連携のための 市町村ハンドブック 解説



国立長寿医療研究センター
在宅連携医療部
の
ホームページ
『HAND BOOK』ページ
から
ダウンロードが可能です

<http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/handbook/index.html>

在宅医療・介護連携のための 市町村ハンドブック 解説

1 在宅医療・介護連携の
必要性について

本日はこちらの
2項目を
説明

2 在宅医療・介護連携の進め方

3 具体的取組み

4 今後に向けて

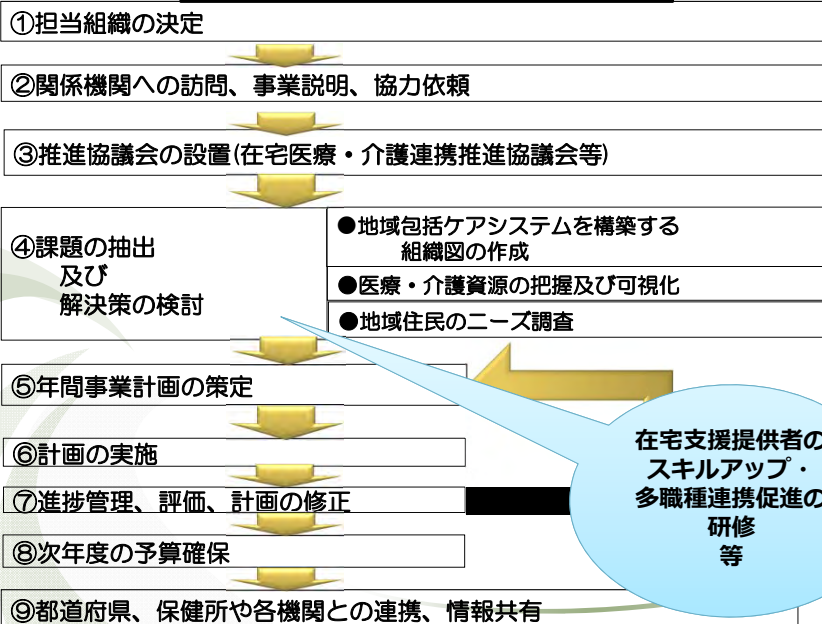
在宅医療・介護連携のための 市町村ハンドブック 解説

2 在宅医療・介護連携の進め方

地域の実情に応じた展開
ネットワーク・文化・取組み・価値観・資源・人々・
経済状況

研修について
地域ですすでに取り組まれている活動を把握し
目的に応じてアレンジや新たな開催を計画的に行う
系統的に、目的をもって、目標を定め、
必ず結果を確認する仕組みの中で展開する
(結果情報を情報発信することも重要)

取り組みフローチャート



在宅医療・介護連携のための 市町村ハンドブック 解説

2 在宅医療・介護連携の進め方

地域を把握し

活動スケジュールを立て

市町村が責任主体となり、担当窓口設置

関係者への理解と協力を得られるようアウトリーチ

連携構築には
顔の見える関係が必要不可欠

在宅医療・介護連携のための 市町村ハンドブック 解説

在宅医療連携拠点事業

在宅医療推進事業の7つのタスク

- ① 地域の医療・福祉資源の把握及び活用
- ② 多職種連携会議の開催(課題抽出、及びカンファレンスを通じた顔の見える関係)
- ③ 研修の実施
- ④ 24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築
- ⑤ 患者・家族や地域包括支援センター、ケアマネジャーに対する支援や相談窓口
- ⑥ 効率的な情報共有のための取り組み
- ⑦ 地域住民への普及啓発

在宅医療・介護連携のための 市町村ハンドブック 解説

会議の開催（会議への医療関係者の参加の仲介を含む）

坂井地区における在宅ケア体制づくり

介護保険者（行政）が中心となる在宅ケア体制の構築（医療・介護事業者、大学による）

① 介護保険者（行政）が坂井地区医師会のノウハウを活用し、医療も食もた在宅サービスをワンストップで構築
② 坂井地区のすべての医療・介護事業者が参加

◎「坂井地区在宅ケアモデル推進協議会」を立ち上げ事業を推進

協議会メンバー
坂井地区の医師会・歯科医師会・薬剤師会の役員、
ネットワークが広い介護事業者（団体）の役員、
看護大学、福祉大学、
坂井市、及び市、坂井市、坂井地区広域連合

在宅ケア推進協議会メンバー
坂井地区医師会、坂井地区歯科医師会、坂井地区薬剤師会、
坂井地区看護協会、坂井地区福祉協議会、
坂井地区民生委員児童委員協議会、
坂井地区高齢者福祉協議会、
坂井地区障害者福祉協議会、
坂井地区生活協同組合、
坂井地区商工組合、
坂井地区農協、
坂井地区漁協、
坂井地区畜産協、
坂井地区酪農協、
坂井地区水産協、
坂井地区林業協、
坂井地区山業協、
坂井地区畜産協、
坂井地区酪農協、
坂井地区水産協、
坂井地区林業協、
坂井地区山業協

(1) 在宅主治医をカバーする副主治医選定ルールと病院によるバックアップ体制を組み合わせた在宅医療システムの構築
○医師会所属のコーディネーターが副主治医を選定 ○病診連携

(2) 「顔の見える多職種連携会議」を設置し、地域包括支援センター単位の医療・介護連携を強化
○顔の見える多職種連携カンファレンス開催 ○検討部会

(3) 市民が自発的に在宅ケアを学ぶための普及啓発
○在宅ケア出前講座 ○住民啓発ツール開発 ○市民委員会開催

(4) 医療・介護の多職種間で活用可能な坂井地区統一の患者記録様式の利用
○坂井地区情報連携シート ○ITを活用した患者情報共有ツール

地元医師会先導により
2市の自治体や県、
各専門職能団体、
介護保険者、
教育機関などが
地域の将来ビジョンに
向け
取組みを開始するため
の
顔の見える場を設置

厚生労働省委託事業 平成24年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料、坂井地区広域連合、P7.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/05043117.pdf

在宅医療・介護連携のための 市町村ハンドブック 解説

地域の医療・福祉資源の把握及び活用

宗像地区医療機関診療機能情報

医療機関名	種別	診療科目	診療時間	休日診療	夜間診療	24時間対応
宗像市立総合医療センター	総合医療機関	内科、外科、小児科、産科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科、検査科、理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、看護科、介護科、リハビリテーション科	8:00-18:00	あり	あり	あり
宗像市立西郷病院	総合医療機関	内科、外科、小児科、産科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科、検査科、理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、看護科、介護科、リハビリテーション科	8:00-18:00	あり	あり	あり
宗像市立東郷病院	総合医療機関	内科、外科、小児科、産科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科、検査科、理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、看護科、介護科、リハビリテーション科	8:00-18:00	あり	あり	あり
宗像市立南郷病院	総合医療機関	内科、外科、小児科、産科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科、検査科、理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、看護科、介護科、リハビリテーション科	8:00-18:00	あり	あり	あり
宗像市立北郷病院	総合医療機関	内科、外科、小児科、産科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科、検査科、理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、看護科、介護科、リハビリテーション科	8:00-18:00	あり	あり	あり

在宅医療への取組情報

連携種別	リニックス	診療科	連携内容
医師会	あり	内科、外科、小児科、産科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科、検査科、理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、看護科、介護科、リハビリテーション科	在宅医療への取組情報
介護保険者	あり	内科、外科、小児科、産科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科、検査科、理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、看護科、介護科、リハビリテーション科	在宅医療への取組情報
地域包括支援センター	あり	内科、外科、小児科、産科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科、検査科、理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、看護科、介護科、リハビリテーション科	在宅医療への取組情報
在宅医療推進協議会	あり	内科、外科、小児科、産科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科、検査科、理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、看護科、介護科、リハビリテーション科	在宅医療への取組情報

ケアマネタイムや、アポイントを取る方法、退院前カンファレンス参加など記載されている

厚生労働省委託事業 平成24年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料、宗像医師会、P24、P25.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/10090255.pdf

在宅医療・介護連携のための 市町村ハンドブック 解説

研修の実施

系統的な
研修プラン

若者も
楽しんで
在宅医療
在宅看取り
について
学べる工夫

斬新な
研修アイデア

厚生労働省委託事業 平成24年度在宅医療連携拠点事業 成果報告書添付資料、オレンジホームケアクリニック,P11,14-16.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeiyoten/2013/201303_date/04045119_ppt.pdf

在宅医療・介護連携のための 市町村ハンドブック 解説

24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築



地域の实情に
応じ
地域の病院が
後方支援と

副主治医
を担う

厚生労働省委託事業 平成24年度在宅医療連携拠点事業 成果報告書添付資料、白河市医師会立コスモス病院,P5.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeiyoten/2013/201303_date/08097266_ppt.pdf

在宅医療・介護連携のための 市町村ハンドブック 解説

地域住民への普及・啓発

4. 市民啓発

- 市政テレビ広報番組「興味しんしん家族」
 - ・タイトル「在宅医療を知っていますか？」
 - ・放送日
平成24年12月19日(水)
午後7時53分～8時
 - ・内容
在宅医、家族からのコメント
訪問診療の様子
- ポスター、リーフレット等の作成



地元ならではの
情報発信源を
活用する

お年寄りや主婦層、
子どもへの
反響が大きい

厚生労働省委託事業 平成24年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,熊本市,P27.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/11096264.pdf

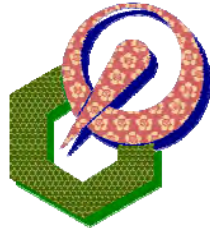
在宅医療・介護連携のための 市町村ハンドブック 解説

本日、ご紹介させていた活動は ほんの一部です。

各地域でもさらに様々な取り組みが続いています。

皆様の地域だけの斬新な取り組みを地域で見つけ育ててください。

もっと詳しい先進地域の活動情報をご希望の方、
地域での取り組みについて関心を持たれた方は
お気軽に在宅連携医療部までお問い合わせください



ご清聴を頂きありがとうございました

TEL 0562-46-5270 (直通)
0562- 46-2311 内線
6215

MAIL z_renkei@ncgg.go.jp

HP <http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/index.html>